

会報委員会

◇◇◇ 編集委員 ◇◇◇

伊藤 佐紀(2期)	山本剛郎(7期)
秦 博文(14期)	小林 修(20期)
美濃部五三男(30期)	大西彩子(32期)
石田 晶大(副校長)	

阜城



同窓会報・第8号

大阪教育大学
附属池田中学校阜城会
発行者 松本淳一郎(2期)
題 字 豊田 千代(2期)
〒563-0026
大阪府池田市緑丘1-5-1
☎072-761-8690
FAX 072-762-1104
URL http://kojokai.com
印刷 野崎印刷所
〒664-0002 伊丹市荻野4-49
☎072-778-0204

阜城会の会員の皆様
平素は母校発展のため
に深いご理解と多大な
ご支援をいただきまし
て、誠にありがとうございます。
私は3月を
以て2期4年間の校長
職を終えることとなり
ます。思えば、私は学
校運営の方針として
「楽しく・面白い学校」
を目指し、4年間様々
な活動に取り組んでま
いりました。そしてま
う一つは2005年か
ら附属池田小学校事件
で当時1、2年生であつ



四年間の校長を
終えるにあたって
校長 三村 寛一

はまず教職員の一致団
結が必要であったため、
毎年、人事交流を活発
にし、教職員の質の向
上や活性化、併せて大
学との交流も盛んに行っ

てまいりました。また
PTAや阜城会の学校
運営へのさらなる参画
を高めるよう努力して
まいりました。特に創
立60周年記念行事につ

のあり方が検討されて
います。昨年から大学
と附属のPTA・後援
会で附属学校園再編検
討委員会が設立され、
このように、教育をめ
ぐる環境、とりわけ附
属学校がおかれている
立場は一層厳しいもの
になりつつあります。
附属学校の使命を果た
すため、教職員一丸と
なって全力を尽くす所
存ですので、卒業生の
皆様、今後ともご支援
のほどお願いいたしま
す。

支援しようという提案
を昨年にさせていただ
きました。幸い多くの
卒業生諸兄姉の積極的
なご協力により、20名
の方々が講師として参
加してくださり、実り
のある授業をしていた
できました。また、こ
れに要した費用につい
ても、その殆んどすべ
てを賄うことができました。
ようでありました。こ
の結果をご報告し、会
員の皆様に改めてお礼
申し上げます。

また、平成16年4月
の国立大学法人化への
移行により、自立的な
効率性の大学の経営
と運営が求められるよ
うになりました。特に
運営交付金の削減や総
人件費抑制により大学
法人の財政基盤は逼迫
しており、附属学校に
もその影響が及んでき
ています。附属の今後

また、母校の50周年
に際し、池田市城跡公
園に附中発祥の地であ
ることと記した記念碑
を設置いたしました。が、
由来を説明した銘板が
風雨により磨滅し、判
読できなくなっており
ました。そのため理事
会の承認を得、磨滅し
にくいエッチングを施
した銘板を新しく制作
し差し替えることにい
たしました。ご了承
いただきました。ご了承
いただきました。ご了承
いただきました。

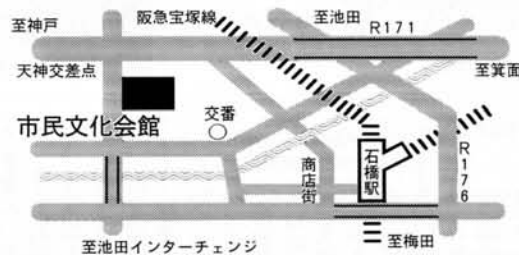
また、母校の50周年
に際し、池田市城跡公
園に附中発祥の地であ
ることと記した記念碑
を設置いたしました。が、
由来を説明した銘板が
風雨により磨滅し、判
読できなくなっており
ました。そのため理事
会の承認を得、磨滅し
にくいエッチングを施
した銘板を新しく制作
し差し替えることにい
たしました。ご了承
いただきました。ご了承
いただきました。

平成21年度総会 記念講演は、青野達司氏の

「カンボジアで学校を作る」

平成21年度 阜城会総会ご案内

- ◆日時 平成21年4月12日(日) 午後1時～3時
- ◆場所 池田市民文化会館 コンベンションルーム
池田市民天神1-7-1 ☎072-761-8811
阪急宝塚線石橋駅下車 徒歩8分
- ◆会次第
第一部 総会
第二部 講演
講師 青野 達司 さん(9期)
演題 「カンボジアで学校をつくる」
第三部 立食パーティ
- ◆会費
5,000円(55期生以降は2,000円)
賛助金(一口1,000円)と一緒に同封の
振込用紙にて最寄りの郵便局から
3月20日までに送金ください。



建築家 青野の
今年の総会は9の期
が担当です。私9期の
青野達司は東京藝術大
学出身の建築家です。
大学を卒業後ル・コル
ビュジェの弟子であつ
た坂倉準三先生の事務
所に勤め、昭和52年に
自分の設計事務所を始
めてからは主に個人住
宅の設計監理の仕事に
して来ましたが、10数年
前から市民活動をはじ
め本職以外のところで
いくつかのことをやっ
ていますが、その中か
らカンボジアでの海外
ボランティア活動につ
いてのお話をしようと思
います。



ご挨拶
松本淳一郎
阜城会会長

△青野達司氏 略歴▽
昭和32年 附中卒業
昭和35年 大阪府立豊中高校卒業
昭和40年 東京藝術大学美術学部
建築科卒業
昭和46年 イタリヤ政府給費留學
生として在ローマ
昭和52年 青野設計事務所開設
現在に至る
平成10年 東京阜城会会員建築家・
日本建築家協会会員

阜城会会員の皆様
方には、お健やかに
ご活躍のこととお慶
び申し上げます。
四月の年次総会の
日が近づいてまいり
ました。今年は9の
期の皆さんが総会を
運営してください、
準備を取り進めてい
ただいております。
多数のご参加をいた
だき、楽しい会にな
りますことを願って
おります。

さて、母校が幅広
い教育の一環として
考えておられる「先
輩による授業」を阜
城会として全面的に
のあり方が検討されて
います。昨年から大学
と附属のPTA・後援
会で附属学校園再編検
討委員会が設立され、
このように、教育をめ
ぐる環境、とりわけ附
属学校がおかれている
立場は一層厳しいもの
になりつつあります。
附属学校の使命を果た
すため、教職員一丸と
なって全力を尽くす所
存ですので、卒業生の
皆様、今後ともご支援
のほどお願いいたしま
す。

“先輩の授業を受けよう”

朝からの雨も上がり、清々しい秋晴れのもと「先輩の授業を受けよう」が、平成20年9月13日午後2時から、在校生全員を対象にPTAにも公開され実施されました。



カメラマン 36期)
西良美和 さん



編集長 (34期)
金馬由佳 さん



かりのくに(株)取締役
岡本 功 さん (40期)



建築家 (21期)
大嶋 明 さん



参議院議員・医師
梅村 聡 さん (42期)



『先輩の授業を受けよう』は、50周年の時に企画され、回を重ねて今年で7回目となるものです。今年からは、阜城会も後援させていただくことになりました。

今回は、各方面でご活躍の19期生から50期生までの講師の方々20人による17講座が開催されました。在校生は、学年に縛られず希望の講座を聴講するの、普段の授業とは違い少し緊張した面持ちの生徒たちも見受けられました。1年生には、附中の伝統の力を知る良い機会にもなるでしょうし、3年生には、将来のことを考え始める良い機会になると感じました。

この素晴らしい授業を末永く続けていくためにも、講師としてのご協力をよくしくお願い申し上げます。(東野佳名子)

『先輩の授業を受けよう』もはや7回目！

高津和彦(19期)スピーチインストラクター
話し方で人を引きつけよう！

大嶋 明(21期)建築家
これからのあるべき暮らしー西洋と日本を比較してー

川口真理子(24期)ソーシャルワーカー(済生会吹田病院福祉医療支援室)
「ソーシャルワーカーって何をやるの？～ひとの生活を支えるということ～」

美濃部五三男(30期)獣医師(小動物医院開業)
「人と動物の絆」＝ヒューマン・アニマル・ボンド(HAB)とは？ 動物医療、君はどちらを選択する？

豊蔵 玄(31期)朝日放送ニュース情報センター 13歳のハローワーク・
西良美和(36期)カメラマン T V業界を目指す君たちへ

関根友実(40期)フリーアナウンサー

金馬由佳(34期)(株)京阪神エルマガジン社 第一編集部ミーツ・リージョナル
編集室 編集長

雑誌を作ってみよう！

八尾哲史(34期)岐阜県立森林文化アカデミー教員
「ひとりの意見」と「みんなの意見」、どっちが正しい？

前田 憲(35期)ドラマー、音楽プロダクション経営
ミュージシャンってどんな生き物？ 打楽器で遊ぼう

日下部大次郎(36期)プロバスケット「bjリーグ」の運営
スポーツで夢を追いかける人々

中塚肇奈(38期)特定非営利活動法人食と農の研究所理事・事務局長、京都精華大学非常勤講師
食と農をデザインしようー農業とカラダのおもしろい関係ー

岡本 功(40期)ひかりのくに株式会社取締役
絵本の出来るまで

梅村 聡(42期)参議院議員(大阪選挙区)・医師(内科)
いのちの現場から国会へ

上田健介(42期)近畿大学法科大学院 准教授
「法律学・法学・司法改革」

森本創世子(49期)大阪大学大学院医学系 研究科大学院生
自分の免疫力で癌を治す！ ～メスや抗癌剤を使わない新しい癌の治療法～

中西良介(49期)豊中市立寺内小学校教諭
目指せG. T. N. (グレートティーチャーナカセン) 俺色の風を吹かせ！

青柳万美(49期)NHK高松放送局キャスター
「アナウンサー」って…？

橋詰純子(48期)NHK青森放送局ニュースディレクター

鑑納麻衣子(50期)競技かるた6段(第51期準Queen)、
(財)日本漢字能力検定協会
勝負を支える力とは？ ～競技かるたから見た「勝負の世界」～

ピーツ・アップ
前田 憲 さん (35期)

今回初めて、「先輩の授業を受けよう」を担当させていただきました。

「出来るかな？」と、最初はドキドキでしたが、タイトルもちょっとやわらかくして、内容も「打楽器で遊んだらいいや」と言うことで、楽しむこと中心に臨みました。

生徒さんは皆、本当にいい子達で、逆に僕自身が「素直な心の大切さ」を教えられたような気がしてなりません。また、業界用語や、ミュージシャンの生態等、ちょっとキワドイおはなしも予定していたのですが、あまりにもみんな上品

だったので、今回は見送り！おかげ様で「まじめなお話」中心にまとめることが出来ました。以下、生徒さんへのメッセージを、この感想文に変えさせていただきます。

「皆さん、先日はありがとうございました。一緒に合奏できて、とても楽しかったです。皆さんは、僕が『自分の音を聴いて！』といえ、『人の音を聴いて！』といえ、『自分の音も、人の音も聴いて！』といえ、両方ちゃんと聴いて演奏できていました。」



そして、そのときのアンサンブルは本当にステキなものでした。そして何よりも、いい意味で肩の力が抜け、音がとても若々しく、思わず僕もうれしくなっていました。素直な心と、音楽家としての素質、能力を持っていることに、ワクワクです。

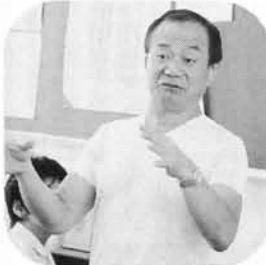
音楽家になる人も、別の道を歩む人も、きっといい仕事ができ、前向きな人生が送れると思います。

またお会いできることを、本当に楽しみにしています。

「私自身、このような形で、微力ながら母校のお役に立てたこと、大変うれしく、光栄に思っております。また、先生方、ご父兄の皆様、そして先生として来られたOBの皆様、本当にありがとうございました。」



大学非常勤講師
中塚華奈 さん
(38期)



大学院生 (49期)
森本創世子 さん



獣医師 (30期)
美濃部五三男 さん



教員
八尾哲史 さん
(34期)



スピーチインストラクター (19期)
高津和彦 さん



ニュースディレクター
橋詰絢子 さん (48期)



ビーツ・アップ (35期)
前田 憲 さん



大学院 准教授
上田健介 さん (42期)



ソーシャルワーカー
川口真理子 さん
(24期)



プロバスケットボールの運営
日下部大次郎 さん
(36期)



競技かるた6段
鋤納麻衣子 さん
(50期)



小学校教諭
中西良介 さん
(49期)



NHK高松放送局(香川県)で夕方のニュースキャスターをしています。49期生 青柳万美です。この「先輩の授業を受けよう」は私が在学していた頃に始まった企画です。まさか私が話す立場になろうとは当時は思ってもいませんでした。(多方面で活躍する先輩方と共に並んで恐れ多い・・・)



ニュースキャスター
青柳万美 さん
(49期)



朝日放送 (31期)
豊蔵 玄 さん



アナウンサー (40期)
関根友実 さん

画面からわからないアナウンサーという仕事について、この仕事に就くことができたのは恩師との出会いなどを話しました。二人共に強調したのは「好きだ」ということをなんでもやってみる」ということです。中高で好きだと思っただことは何でもやってきて、(それしか出来ませんでした)それが今の仕事につながっています。私自身の中高生時代を今回の授業で振り返ることが出来ました。当時はあがりたり悩んだりしていましたが、それらも含めて非常に恵まれた環境で過ごすことができたと感じました。今の生徒の皆さんには、自由・自主・自律を大切にする環境を精一杯活かしてほしいと思います。

年次活動報告

2期生 さつき会 「秋の高山祭り」の観光

初めての中部地区で開催することになり、日本三大祭の一つ、「秋の高山祭り」(10月9日・10日)の観光を企画したところ、15名の参加で実施しました。

人気の高い観光スポットで宿の確保が心配でしたが「ホテルアソシア高山リゾート」を予約、ホテルでの夕食も味気ないので郷土料理の店「寿々々」も予約、いずれも半年前からの交渉でしたがまずは安心。次は列車の予約も大阪組・東京

3期生 宝塚にて 旧交を暖め

2007年7月29日

中沢さんのお世話で宝塚「対嵐荘」にて一泊、三十六名の参加、武庫川を望み乍ら、庭でのパーベキューを楽しみ、二日目は、絵画鑑賞、宝塚散策、ゴルフ組へと、旧交を暖めました。

2008年10月には、

「魔法瓶」メーカーの第一人者として、六年前に紫綬褒章受賞、今春にも叙勲された田中守守さんが、オーストリアのシェンブルン宮殿をイメージして、建てられた「ザ・ゴールデンパレス大阪」が同窓会の舞台と



戸村さんと島田さん



阪急仁川テニスクラブ(12期 山川峯夫)
〒662-0811 西宮市仁川町6丁目15番22号
☎ 0789-533-211
HPも開設しております。
URL <http://www3.ocn.ne.jp/~nigawa/>

25名が参加して、又違った趣の中で楽しいひとときを持てました。

二次会はアクアラ

イナリーに乗っての大阪中之島めぐり。

2009年6月1日

6月2日は一泊の

バス旅行を予定し、

再会を楽しみにして

います。

(杉本、中沢、新海)

高連峰に感無量。新平湯温泉に一泊、夜中中降っていた雨も出発時には上がり上高地へ出発、ぬかるんだ遊歩道の中、明神池を往復。景色に圧倒されたこともあり後期高齢者一歩手前のメンバー全員完走。アップレ・アップレ。

その後上高地バスセンターにて来年の再開を約束し東京組み・大阪組に分かれて二泊三日の楽しい旅は終わりました。(記 柴田昌男)

ご案内

昭和35年に附中を卒業してから50年程になりますが、仕事の傍ら土・日曜日や祝日に年間70〜80日程10才の頃から始めた趣味のテニスをしております。高校・大学の7年間は体育会に属しそれなりに入れ込んで来ましたが、今は健康の為に体力作りと多くの仲間と囲まれたクラブライフを満喫しています。



16期生 還暦記念 同窓会

我々16期生は本年還暦を迎える記念すべき年にあたり、附小52期生との合同同窓会を11月1日宝塚ホテル菊の間で開催しました。恩師の方々の元気があつ含蓄あるご挨拶を頂戴し、附小・附中両校の恩師である、内山先生のご発声で乾杯後、団塊の世代と離れ、激動の60年を生き抜いた、

13期生

13期は、毎年11月にテニスの会と引き続いて夕食会を行っています。(記 正岡哲)



後列左から 野村、鮫島、鍛形、牛島、金子
前列左から 浅野、岸(岡井)、浅野(尾上)



夕食会 後列 野村
前列左から 浅野(尾上)、柏木(山下)、岸(岡井)

参加者

恩師：(附中) 藤原先生・直原先生・松村先生(附中・附小) 内山先生(附小) 谷先生

同期生：附中・附小卒業生28名、附中のみ卒業8名、附小のみ卒業生3名(16期 宮本 佳男)



楽しい夕食を済ませた後は、ホテルの一室に全員集合しての大宴会が始まりました。たが、地のお客さん

0期生

やはり泊りが最高

9期生 7年振りの開催

9期生は東京近郊に約30名在住しており、現役のところは数年おきに「五月山会」と称して同期会を開催していました。ところが、還暦を過ぎると時間の経過を感じるセンサーが鈍くなるのか、アツと言いつきに開催の間隔が延びてしまい、



気が付いたら7年も開催していない事が分かりました。有志の発案で、昨年10月に7年ぶりの開催にこぎ着け、新橋に総勢22名が集まりました。その中には仙台から伊藤東彦君、名古屋から柴田(根本)志津子さんが、そして関西からは林邦一君が遠路駆けつけて頂き在京の参加者を喜ばせてくれました。参加者の中には中学卒業以来半世紀ぶりの顔合わせもあり一同びっくり。初めに名前と顔の確認作業を行い、それでもイメージが繋がらない場合には、薄くなった頭を手で隠して目鼻立ちだけを確認してお互いに合点するなど抱腹絶倒の騒ぎの中で開幕しました。家族の事や趣味などを交え

10期生 半世紀の節目を迎え

卒業以来半世紀の節目を迎え、附小の同期生も交え、みのお山荘「風の杜」にて総勢51名の参加を得て、平成20年3月16、17日一泊泊まりで、附中10期生同窓会を開催しました。五年前の還暦同窓会には、若林先生、柴田先生にもご参加いただきましたが、今回は両先生とも病床に臥して



おられ、残念ながらお顔を拝する事はできませんでした。夜の宴では、初めに物故者10名(全て男性)の名前を読み上げ、黙祷を捧げ

た後、牧野君の名司会で会が進みましたが、食事中参加者一人一人がそれぞれの近況を短く報告した頃には、この親父かと思っていた隣の人も、50年前の顔に戻ってまいりました。翌日は数台の車に便乗し、現在の附中の校舎で山内先生にご案内いただき、その後城山の旧校舎跡の公園を訪れました。

高橋君の提案で今回の同窓会を記念し母校に植樹をしよう



43期生 忘年会のご報告

去る2008年12月29日、石橋にて、43期(プラス附小・附高の同級生)の忘年会を実施しました。附中43期だけで16名が集まり、大いに盛り上がった会となりました。結婚報告や子供の話、マイホームを購入した話などを聞きながら

時の流れを感じつつ、楽しいひとときを過ごしました。43期の石橋での忘年会は、毎年定例行事になりつつあります。久しぶりに会っても隔たりを感じず、安心していろんな話ができるのが同級生のよさ。お近くにお住まいの方、年末年始帰省されるご予定の方は、ぜひ次回ご参加ください。(記 西川輝美子)



た微笑ましい近況報告を一人ひとりが行い、皆納得したり、同情したりで、予定された1時から5時までの4時間が瞬く間に過ぎました。更に有志は自分たちの歳や体力も忘れて、2次会へ流れたのは申すまでもない事でした。(記 石黒潔)



48期生 同窓会開催!

1月3日に48期全体同窓会を卒業後はじめて開催しました。なるべく多くの方にと

思いますが、約半数が参加してくれました。当日は辻本先生(灰本先生)が来てくださり、当時のことを思い出しながら近況を話したりと大盛り上がりだったようです。大人になってからの先生のお話はとてありがたく、感動でした。私たちも大人になったものです。卒業後13年ぶりの再会なので、各クラス幹事は

20期生 泊りが最高

20期A組山田、藤原学級は在学当時からやけにクラスの仲が良く、卒業直後から不定期ではありましたが同窓会を開いてきました。子育てに忙しくなってきた。少しいの中断がありましたが、40歳を過ぎたところから再び集まり、クラス会を泊りがけでするようになりました。

昨年に山田先生が闘病の末亡くなられたので、山田先生をお連れしての旅行はとうとう実現しませんでした。幸いにも藤原先生がお元気で、6月28日のクラス会には総勢21名が浜松にそろいました。また、今回初参加の人や、他のクラスからの参加者もいて、懐かしい顔ぶれがそろいみんな大興奮です。他のクラスはクラス会がないようなので、藤原先生がお元気な間は、



合しての大宴会が始まりました。たぶん、他のお客さんが迷惑していたのではありませんかと思うほどのドンチャン騒ぎで、その中心で先生は「おてもやん」を勝川君と一緒に踊っていました。先生、お疲れ様でした。今年のタイガースは残念でしたね。(記 木村博)



誰かわからないかも...と危惧していましたが、みんな当時の面影が残っていて、すぐに打ち解けました。幹事としてはあまり同窓生に

触れあえなかったのですが、全員が満面の笑顔だったので楽しんでもらえたかと満足しています。今回はうれしい&申し訳ないことに幼子を預けてまで来てくれた方がいたので、次回は子どもが大きくなって40歳くらいで...と考えていましたが、「それでは遅すぎる」といううれしい声も頂いたので35歳くらいで開きたいと思っています。みんなどんな人生を歩んでいるのか、そのときが楽しみです。参加してくれた方、ありがとうございました。またの機会をお楽しみに。(記 中野理絵)

31期生

かき峰
忘年会

毎年12月30日に阪急池田駅近くの割烹料理店「かき峰」にて有志での同窓会「かき峰忘年会」を開いています。

1990年の年の瀬から始まり、附小・中・高の同期を中心に、先輩後輩・ご家族も含め幅広く集まって来ました。

第19回目の様子を、中尾宏史さんがリポートします。幹事の荒堀君の骨折りで、今年も楽しく集まることができました。

参加者は東、恒吉、阪本、倉智、川井、田中(邦)、上島、寺井、土屋、布施、

中尾、印藤夫妻、加藤、元附高の奥村先生、石田先生の総勢17名でした。

今年も見事な「海のミルク」を心ゆくまで堪能しました。みなさんの近況など、名酒「呉春」を酌み交わし、興味深い話で盛り上がりました。毎夏のBBQ会を再開する、との話も出ました。

こちらにもまたまた楽しみます。(P.S. 2次会は川西能勢口駅前のパリー場所を移し、終了は深夜の3時頃であったと...)

来年は発足20周年です。恩師や級友に会えるのを



恩師を交えた附小から附高までの合同同窓会

幹事(荒堀)
連絡先: Email: linlinarahori@hotmail.com
Mobile: 090-1442-0306

(記 荒堀善文)

34期生

同窓会報告

夏本番の非常に暑い盛りの8月9日土曜日、附中の図書室において34期生の同窓会を開きました。集まった同窓生は34人。中には子連れでの参加の方もおられ、懐かしい校舎の中にぎやかでアットホームな雰囲気とともに、久しぶりに会った友達同士で自然にわいわい語らいが生まれる、楽しい同窓会になりました。



況報告をいただきました。次に、同窓生全員の近況報告会。当たり前のことで

ですが、20数年間、それぞれにいろんな人生を歩まれたんだなあ・・・としみじみ感じました。

最後には、数年後に同窓会をしようとの意見に満場一致で賛成、またの再会を楽しみに会

はお開きとなりました。さらに池田駅前で2次会になだれ

込み、楽しい夜は遅くまで続いたのでした。

(記 八尾哲史)



何か母校の為に出来る事は無いかとみんな思っています。これからは、同期の連携は勿論先生方、先輩方や後輩達とも関わりを深め、母校の未来と後輩達の将来を一緒に考えて行けたらと思います。

(記 末田良介)

第一部は恩師と30期生が60名弱集合し、皆、中年のおっさん、おばさんでしたが、言葉を交わすと30年前にタイムスリップし、青春時代の思い出話で盛り上がり、外見は変化していても、中身はみんな昔のままでした。いろいろな分



野で活躍されている同窓生が多く、さすが附中だと感じました。第二部はさらに多くの附中卒業生が駆けつけました。山内先生の薫陶を受けた方がこんなにも多くおられ立派になられているのは本当に凄いことだなあ、と感心しました。第一部も第二部もあっという間に終わった感があります。その後はエンドレス状態で、二次会・三次会の居酒屋(何軒居酒屋行くねん、四次会の喫茶店・・・)みんな再会を誓い解散しました。深夜まで、本当に有難うございました。

(記 岸本文)

<同窓生の活躍>

福高教偉氏(24期)
国内初、心肺同時移植実施(大阪大学病院)
大阪大学心臓血管外科・移植医療部
【複雑先天性疾患に伴う高度肺高血圧(Eisenmenger症候群)の方が5年半の待機の後、心肺同時移植を受けられました。経過は順調です。】

さそうあきら氏(28期)
第12回文化庁芸術祭漫画部門優秀賞
「マエストロ」で受賞。
この賞は、「神童」に続いての2回目の受賞となる。
<http://plaza.bunka.go.jp/festival/2008/manga/001048/>
<http://saso.web.infoseek.co.jp/>

藤川 智子氏(30期)
「ぼんぼらみん」作/絵 藤川智子 岩崎書店刊
子どもたちの厄災を身代わりに背負う「流し雛」の風習をベースに、新感覚のひな祭りを描く行事絵本
HP「櫻堂便り」
<http://www.k2.dion.ne.jp/~fujikoji/sakuradou.htm>

吉野(三宅)真由美氏(31期)
「売れる人は知っている営業マナー」ダイヤモンド社
「営業ほめ言葉の達人」KKベストセラーズ などなど。
<http://yoshinomayumi.net/ym-blog/>
<http://www.ms-consulting.jp/>

木下晴弘氏(32期)
「涙の数だけ大きくなれる」フォレスト出版
人は涙を流した瞬間に変わることができる！
7万人以上が泣いた「生きるメッセージ」
<http://www.forestpub.co.jp/namida/>
<http://www.abtr.co.jp/namida.pdf>
HP URL <http://www.abtr.co.jp>

同窓生の活躍を阜城会までお知らせください!!

第二部はさらに多くの附中卒業生が駆けつけました。山内先生の薫陶を受けた方がこんなにも多くおられ立派になられているのは本当に凄いことだなあ、と感心しました。第一部も第二部もあっという間に終わった感があります。その後はエンド

山内啓子先生ありがとう!

卒業生有志と附中とのジョイントで
実現した「啓子先生を囲む会」

附中一筋に35年間、数学の教鞭をとられておられた山内啓子先生が昨年度を持ちまして、退官されました。そこで啓子先生にお世話になった卒業生有志が中心となり、「啓子先生を囲む会」を企画。当初は、啓子先生が3年間クラス担任をされた30期生の同窓会を行い、先生にはサプライズ企画になるよう、シークレットに企画していたのですが、そこは啓子先生の人徳、OBやPTA、教職員の間が広がったという間に広がり、直前に啓子先生の耳にも入ってしまいました(笑)。

平成20年3月9日(日)、会場はホテルグランヴィア大阪の鳳凰の間。その前から行われていた30期同窓会からそのまま流れた62名(恩師5名+同期57名)に加え、各期の有志の皆様にお集まり頂き、参加者は総勢200名の、盛大な会となりました。



大盛況。会の最後には、三村学校長から「山内啓子先生定年退職記念誌」300部が贈呈され、それを別れ際に、啓子先生自らが参加

者全員に手渡されていただきました。なお、今回の会は「同窓会ネット」という企業にお手伝いをお願いしました。会の概要や画像など、同サイトにアクセスすれば、当日の様子を知ることが出来ます。(記 永田浩章)



○URL: <http://www.dousoukainet.com/login.html> ○ID: ikeda-k
○パスワード: 826110 <附中合同同窓会(啓子先生を囲む会) ホームページ>

東京阜城会

今年は附小の東京イベントの影響で出席返事が少なく、先輩役員・各期の幹事、そして恩師の皆さまのご協力を頂いて、11月16日(日)、いつもの東京ガーデンパレスで、約80名が参加して開催されました。

総会は前谷宗扶副会長(16期)の総会司会で始まり、定例の事業会計報告が藤木豊会長(14期)から行われて承認。また新副会長として若手の北川一也さん(31期)を紹介、今回は氏の協力で、総会プログラムのデザインを一新し好評でした。

第二部は勝田前会長(13期)のご令嬢の勝



田香子さんが登場。今回のゲストはみやち治美さん(14期)、詩人でボクサー・ソラー版画家というパワフル女性。尾道市生口島にドームハウスを自力で建てたという話など、生き方そのものが「闘う詩人」でした。

第三部「世代を超えて語ろう」は抽選で各期バラバラに席について懇談。母校の近況を石田晶大副校長から伺った後で乾杯。元校長の松村直行先生・上原昭三先生にもご挨拶頂きました。

第四部は期別に席を変えて楽しいミニ同期会。最近作品が続々映画化されている漫画家さそうあきらさん(28期)が恒例の似顔絵サビス。アピールコーナーで

は似顔絵を書いてもらった人が傑作を披露。また経営コンサルタントの吉野真由美さん(31期)や文京区議の田中利周さん(35期)が登場して近況を報告しました。

最後は「みんなで歌おう」芸大教官の茂木眞理子さん(20期)のピアノ伴奏で懐かしい歌と校歌を楽しく合唱。多くの会員に、もっと出席して頂くためにはどうするか、今後の課題です。(記 川部重臣)



山内先生よりのご挨拶



今回、このように立派な会派の開催にご尽力いただき、誠にありがとうございました。そして退職記念誌にご協力いただいた皆様、ご多忙の中、ご参会の皆様、また、お便りやメールを、さらに学校まで訪ねてくださった皆様等々、教師冥利に尽きる思い出をいただいた感動は言葉に尽くせません。

附中との関わりは、昭和43年5月の教育実習が最初です。縁あって、翌44年の春に赴任。とりあえず結婚まで、とりあえず子供を産むまで、とりあえず30歳まで・・・が、どんどん教えることが楽しくなり、「附中生」「附中」が好きで、気がつけば40年の永きにわたっておりまして。

奇しくも附中と私は同じ昭和22年生まれ。私の22歳から61歳は、22期生から61期生といっしょでした。この間、7000人を越える生徒の皆さん、魅力的な保護者の方々、自主自律の校風で培われた判断力や行動力をもった卒業生の皆様から、学校教育の魅力と奥深さ、感動や活力をいただきました。附中の宝ものは「ひと」、そのたくさんの宝ものに巡り合えたことは、最高に幸せな教師生活であったと感慨無量です。

今後、これまでの貴重な体験と数多くの出会いを忘れることなく新たな教育活動に生かしていこうと考えております。皆様、ほんとうに長い間ありがとうございました。山内啓子

東京阜城会からのお知らせ 電子メール送信のお願い

東京阜城会では、パソコンや携帯電話を用いた電子メールの一般化に伴い、ご案内や各種個人情報情報のアップデートなどを含め、電子メールを情報伝達ツールとして活用していくことを検討中です。

つきましては、会員の皆さんにお願いがあります。現在、お使いの電子メールアドレスを確認するために、お手持ちのパソコンや携帯電話から下記のアドレスに電子メールをお送りください。

お送りいただく際には、本文1行目に漢字で「氏名」を、2行目に「ふりがな」を記載してください。3行目以降は空欄で結構です。

無事に送信できましたら、しばらくすると自動応答メールが返信されます。自動応答メールが返って来なかった場合は、いまいちど宛先を確認の上、再度送信してください。なお、携帯電話等で着信制限を設定している場合は、自動応答メールを受信できないことがあります。

送信アドレス《期の数字》

【32期 板井さんの場合】

送信アドレス→ 32@kojokai.gcd.org

本文1行目 → 板井 禎之

本文2行目 → いたい よしあき

ぜひ、いますぐ、送信をお願いします！
メールアドレスは複数件の登録が可能です。複数のアドレスをお持ちの方は、ぜひ複数のアドレス登録をお願いします。
※上記の送信アドレスはメールアドレスの収集専用です。ご意見等を頂戴してもお返事ができませんことをご承知をお願いします。

恩師便り ⑧

思い出一杯の附中

でも立山…

村野博道先生

(在職 昭和44年～平成元年)



私は、昭和44年4月附中へ転勤し、22期生の3年学年担任(副担任)に始まり、以後平成2年3月まで、数限り無い楽しい思い出と暖かい出会いや触れ合いを頂きました。その間、懸命に愛情をもって指導してきたと自負しておりましたが、年月を重ねるとともに懐かしさが増す一方で、当時の自分の未熟さに気づき、申し訳ない気持ちにもなります。

ところで、私の附中での

一番の楽しい思い出は臨海ですが、最も印象深い思い出は「立山」なのです。赴任年度の3年生は夏に立山登山をすることになっており、山内篤先生のガイドで下見を行い、引率にも当たりました。登山の前夜アポロが月面に到着、人類

初の月面遊歩の様子を「一の越山荘」のテレビで見ることになりました。

3度目は、昭和63年夏、42期生と立山・黒部へ行った時です。これは、前年まで実施してきた2年生の臨海が無くなったからです。生徒達はさぞ寂しいだろうと安全で手早く実施できるこの行事を急遽行いました。このような訳で、私の附中での思い出といえば立山と言うことになります。附中を出てからは、池田市教委、プラハ日本人学校、呉服小学校、渋谷中学校、非常勤嘱託員など勤めて職を退きました。

おわりに、卒業生の皆様の益々密なるつながりと阜城会の更なる発展を願っております。



<阜城会事務局からのお知らせ>

阜城会ではホームページの作成(Perl/CGI)、クラス会・同期会の記事の投稿、「先輩の授業を受けよう!」の講師を募集しております。特に「先輩の…」は生徒たちの進路選択の一助として阜城会ならではの活動でありますのでご協力をお願いします。

詳細は事務局(office@kojokai.com)まで。

計報

若藤正芳 先生

昭和29年～昭和32年まで国語を担当。

昭和32年～昭和59年までは附属高等学校池田校舎に勤務。(この間、附中に書道の講師として勤務)平成20年3月20日逝去享年86歳。

柴田福一 先生

昭和28年～昭和34年まで英語を担当。

平成20年9月9日逝去享年79歳。

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

スペシャルサンクス

永田 浩章さん(30期)、東野佳名子さん(30期)、中尾 史江さん(30期)、住 亜希子さん「ヤマト運輸」(37期)、野崎印刷所(編集)のご協力に感謝いたします。

学校は今

新装の体育館

―サブアリーナも増設―

昨年の六月末、待望の体育館がようやく新装になりました。建て替えとまではいかなかったのですが、増築が認められ、一階にはバレーボールが一面取れるサブアリーナが出現しました。男女の更衣室にはシャワールームも完備。今までなかったトイレも設置されています。二階には、中高の保健体育の先生方の研究室と附属生用のウェイトトレーニングルームが設けられています。



いた床もきれいにコーティングされたフローリング材で、実に気持ち良さそうです。ただ、残念なことに念願

の舞台は付かず、またもや仮設です。体育の授業や部活動で使用するのがメインとは言え、講堂がない以上入学式等の儀式や文化祭などの発表の場にも使われる体育館。何とかしたいものです。

(副校長 石田晶大)

平成20年度 阜城会総会

― 107名の参加で、盛大に開催 ―

「おまえの世界ほど美しい世界はない」

勝本章子さん(8期)の講演に感動!

2008年度阜城会総会は、例年どおり4月13日(日)午後1時～3時30分池田市民文化会館コンベンションホールにて、107名の会員様の出席で、盛大に開催されました。当年度の担当幹事は「八の期」ということで、8期を中心に各期の幹事の皆様のご協力で成功裡に行なわれました。

西山、樋口、藤原、松村各先生の関連なお話にも盛り上がりました。恒例の講演は世界的に活躍されている、8期生の声楽家「勝本章子」様の映像・音楽を効果的に使った演出に出席者一同、大きな感動をいただきました。第2部の懇親会では、先



輩・後輩・同期の旧交を温め、最後はなつかしの「校歌斉唱」で2時間30分が名残惜しく感じる中で閉会しました。当日の開催にご協力・ご支援いただきました、会長・事務局長・各学年代表幹事様はじめ多数の方々に礼申し上げます。



昨年の会報の訂正とお詫び

昨年会報一面の総会案内の演題は誤りで、「おまえの世界ほど美しい世界はない」が正しく、ここに訂正し、お詫び申し上げます。